

意 見 書 (医師記入)

おとは保育園 園長 殿

入所児童名 _____

病名

病状も回復し、集団生活に支障がない状態になりました。

年 月 日から登園可能と判断します。

年 月 日

医療機関名 _____

医師名 _____

保育園では乳幼児が長時間生活を共にする場です。感染症の集団発生や流行をできるだけ防ぐことで、一人ひとりの子どもが一日快適に生活できるよう、下記の感染症について意見書の記入をお願いします。

○医師が記入した意見書が必要な感染症

感染症名	感染しやすい期間	登園めやす
麻疹 (はしか)	発症 1 日前から発しん出現後の 4 日後で	解熱後 3 日を経過してから
風しん	症状がある期間 (発症前 24 時間から発病後 3 日程度までが最も感染力が強い)	発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 3 日を経過してから
水痘 (水ぼうそう)	発しん出現 1 ~ 2 日前から痂皮形成まで	すべての発しんが痂皮化してから
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発症 3 日前から耳下腺腫脹後 4 日	耳下腺、頸下腺、舌下腺の腫脹が発現してから 5 日を経過し、かつ全身状態が良好になってから ※流行性耳下腺炎に罹患したことがない場合、ただの耳下腺炎と診断されても流行性耳下腺炎の疑いがあるため、提出が必要 (園医の指導により)
結核		感染のおそれがなくなってから
咽頭結膜熱 (プール熱)	発熱、充血等症状が出現した数日間	おもな症状が消え 2 日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3 週間を経過するまで	特有の咳が消失してから、または 5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了してから
腸管出血性大腸菌感染症 (O157、O26、O111 等)		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48 時間をあけて連続 2 回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されてから
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から 1 ~ 2 週間、便から数週間~数か月排出される	感染のおそれがなくなってから
髓膜炎菌性髓膜炎		感染のおそれがなくなってから